

しまねろうふく



代官所跡

今月号の目次

私の職場・ふるさと紹介(大田地区).....	2
税務研修会	3
地区労福協だより	3
島根県生活協同組合連合会だより	4
全労済ニュース	5
中国労金からのお知らせ	6

2004年度 県労福協 今後の主な活動予定

日付	曜日	内容	時間	会場
2005年4/18	月	会計監査	10:00～	労働会館202号室
4/27	水	第137回幹事会	13:00～	労働会館201号室
4/27	水	地区労福協会会長会議	14:30～	労働会館201号室
5/27	金	第138回幹事会	12:00～	労働会館203号室
5/27	金	第34回定期総会	13:30～	労働会館401号室

大田地区労福協



大田地区

労福協とは

労働者福祉協議会の総称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。

私の職場・ふるさと紹介

大田地区労働協
事務局長 田中 礼祐

皆さんこんにちは。私たち大田地区労働協は、大田市、仁摩町、温泉津町を区域として活動しています。この地域は本年十月に市町合併を控え準備が進められているほか、世界遺産登録に向け盛り上がりつつある石見銀山遺跡の区域でもあります。そのため、大田地区労働協では地域の共通の話題として、また、地元から世界遺産登録を盛り上げるため会員の理解を深めるよう、昨年末に大田市役所の石見銀山課から講師を招き講演会を行いました。今回は、この石見銀山遺跡を紹介したいと思います。

まず始めに簡単に歴史から説明したいと思います。石見銀山は、鎌倉時代に大内弘幸によって発見され、地表に出た自然銀を採取したとされていますが、本格的な採掘が始まったのは大永六年（一五二〇）に博多の商



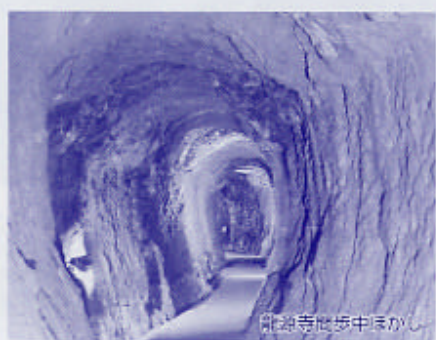
人神谷寿雄が航海中に仁摩の韓島沖から南方方向に明るく光る山を見つけたことからいわれています。その後、朝鮮から灰吹法といわれる技術を日本へいち早く取り入れ、銀の精錬を始めたことにより飛躍的に生産量が上がった。日本の銀生産のかなり多くを占めました。このようにして生産された石見銀は仁摩町の瀬々浦や温泉津町の沖泊などの港から博多などの大陸に近い港に運ばれ、そこから朝鮮半島や中国などに運び出され、ポルトガルの手によって世界貿易で使われてきました。また、この石見銀は戦国時代には武將たちの軍資金として価値が高く、石見銀山をめぐる激しい争奪戦が繰り広げられましたが、永禄五年（一五六二）に毛利元就によってその開いに終止符が打たれた後、関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康により貨幣原料の供給地として直轄領とされました。

次に、世界遺産とはどういうものかといいますが、日本では白神山地や、屋久島などが登録される自然遺産と、奈良の法隆寺や広島県宮島の厳島神社が登録される文化遺産に大きく分けられますが、石見銀山遺跡は文化遺産として平成十三年に世界遺産暫定リストに登録され、平成十九年の登録を目指しています。この遺跡に対しての専門家の評価としては、世界的に見ても銀の採掘が行われていた当時の施設が良く保存され、かつ、中世からの鉱山の歴史がわかるということ、また、当時の町並みが残っているため、各時代の生活ぶりがわかる貴重な遺跡であるということです。

さて、歴史などを紹介したところでここから遺跡の紹介をしたいと思えます。石見銀山遺跡の中心といえは大田市の大森町ですが、ここに町並みを中心とした大森ゾーン、銀の採掘を行っていた銀山ゾーンがあります。はじめに、江戸時代にタイムスリップしたかのような武家や商家が建ち並ぶ大森ゾーンから紹介したいと思います。皆さんが大森町を訪れたときにまず目に付くのは石見銀山資料館になつていて代官所跡ではないでしょうか。ここには鉱山の資料、奉行代官、町方の資料などが展示されており、石見銀山の歴史を感じることが出来ます。また、町並みには武家屋敷である旧河島家が公開されているほか、当時の豪商である熊谷家も平成十八年春の公開に向け現在復元修理中です。町並みを歩くと忙しい毎日を忘れ、落ち着いた気分になりますので、皆さんにも是非一度体験してみてください。と思います。

次に、産業遺跡を中心とした銀山ゾーンを紹介いたします。ここには銀の採掘を行っていた施設が数多く残されています。灰吹法といわれる技術で銀の精錬を行っていた下河原灰屋跡や、シルバー・シエラの銀山開発の中心地であった仙ノ山山頂付近にある石銀遺跡

など、鉱山史的にも貴重な遺跡があります。また、通りを歩いていると、至る所に開歩と呼ばれる銀の採掘を行っていた坑道跡があります。基本的には当然立入禁止なのですが、唯、公開されている龍源寺開歩は、通り抜けすることが出来ます。公開部分は約二百七十メートルで、色々な展示もあり、当時の作業の様子を伺い知ることが出来ます。



また、石見銀山遺跡には、大森町以外に大田市から仁摩温泉津にわたる周辺ゾーンと呼ばれる区域があります。これは、大森から日本海まで銀が運ばれたルートである銀山街道を中心とした遺跡です。大田市外二町広域行政組合では、毎年ウォーキングを通じての銀山街道などの遺跡を学習・体験する「銀の道ウォーク」を開催し、大変好評を得ています。

今回は皆さんに石見銀山遺跡について紹介しましたが、他にもこの地域にはたくさん歴史や文化があります。県内の皆さんに私たちの地域を知ってもらうために、自分達が地域の理解をより一層深めていきたいと思います。

種々雑感

学力騒動



中国労働金庫島根県本部
本部長 遠藤 渡

先月に、それぞれの学校で卒業式があり、卒業生は進学や就職をし、四月からは新しい環境のもとで希望に満ちた出発をされたことでしょう。大学への進学率も年々あがっていますが、進学するには、大学入試センター試験がほぼ必須であり、その後希望する大学の入学試験を前期A日程・B日程や後期日程で受験していくことになるようです。そのセンター試験が今年一月十五日、十六日に行われましたが、県内受験生の平均点が、以前は上位グループにあったものが年々下がり、今年は最下位グループであったことから、島根県の高校生の学力が低下しており問題であるとの指摘がされたとの新聞記事がありました。

学力低下の原因として、「ゆとり教育」により時間が少なくなった、総合学習で「生きる力」の教育をしており学力がつかなくなった、など言われていますが、新しい教育が成果を出すには時間が必要であり、所謂、試験成績で結果を判断するには早いのではないのでしょうか。また、昨年は高校総体が島根県を中心に開催され、今年センター試験を受けた高校生の多くは、この総体で頑張ってきたおり、単に学力だけをみて判断することはどうかという気がします。

会計処理・労働組合の税務研修会を開催!!

会計処理・労働組合の 税務研修会

と き 2005年3月19日(土)

13:00~16:00

ところ 労働会館「201」

島根県労協は、3月19日(土)13時より松江市・労働会館において中央労協・小倉専任顧問税理士、自治労島根本部・永野財政部長を招き、昨今の税務動向と労働組合に係わる税務についての研修会を開催しました。

研修会は、これまでの研修で、実践してきました会計処理の課題克服、適正化を図ることを目的に、県下労働組合会計担当者27名の参加をいただき、それぞれの具体事例を織り込みながらの内容説明がなされ、参加者から多くの質問もあり、大変有意義な研修会となりました。

研修日程

開会あいさつ
主催者あいさつ県労協
県労協事務局長 神門 至
会 長 湯浅 英市

[研修会]

13:05

「労働組合の会計処理システムについて」

講師：自治労島根本部

財政部長 永野 公

13:35

質疑

13:50

休憩

14:00

「最近の税務の動向と労働組合に関わる税務処理について」

「中央労協税務サポートの会について(ご案内)」

講師：千葉県税理士会所属

税理士 小倉 秀夫

16:00

閉会あいさつ

連合島根

会長代行 矢倉 淳

終了後 個別税務相談(希望者のみ) 税理士 小倉 秀夫

主催：島根県労働福祉協議会

共催：連合島根 後援：中国労働金庫島根県営業本部・全労済島根県本部



小倉税理士



永野財政部長



地区労福協だより

今月は益田地区を紹介します

=第33回 益田地区労福協囲碁・将棋大会=



囲碁の部A級

優勝	2 位	3 位
労金友の会 須子チーム	横 田 A	労金友の会 C
増野 三郎さん 真庭 千里さん 和崎 和夫さん	海老谷 保さん 早内伊佐義さん 岸田 正明さん	村木 功敬さん 石川 豊さん 宮本 重雄さん

囲碁の部B級

優勝	2 位	3 位
横 田 C	労金友の会 K	久寿会 B
野坂 剛さん 三浦 正三さん 佐藤 博さん	宅野 信輔さん 兼子 亮太さん 宅野 亮輔さん	堀野 晴さん 龍本 隆三さん 大庭 宮幸さん

「平和とよりよい暮らしのために」

島根県生活協同組合連合会

〒690-0017 松江市西津田1-10-40
事務局 電話.0852-27-6284
FAX.0852-27-5742

生協は、安心して毎日を過ごすことのできる地域社会と
豊かな未来を求め、様々な活動をしています。

●食品の安全確保にむけて取り組んでいます。

全国の生協が取り組んだ「食の安全を守る運動」は「食品安全基本法」の制定、「食品衛生法」の改正につながりました。他の消費者団体、生産者団体等との連携をしながら、食の安全安心を考える取り組みを進めています。

●消費者被害から身を守る活動に取り組んでいます。

消費者トラブルアンケートを実施し、現状の把握と架空請求などへの対応知識の普及をめざしました。広報などを通じ、被害から身を守るための活動をさらに強めていきます。

●平和・環境・福祉の活動に取り組んでいます。

身近な、できることから一歩ずつを基本に、平和映画会、ピースリレー、戦争の悲惨さを子どもたちに伝える活動、生活の中から環境・福祉を考える学習会などの取り組みをしています。



ピースリレー

生協連では、平和・食の安全・環境などのパネル、ビデオ、16mmフィルムの貸し出しをしています。事務局までお申込下さい。



懇談会

●県行政「環境生活総務課」との懇談会を開催しています。

毎年、島根県の消費者政策の担当部署との懇談を行っています。食の安全確保に係る問題や、悪徳商法などの被害が多くなっている現状から、県民への広報のあり方など意見交流しています。

島根県生協連 会員生協 ()内は、本部事務所の所在地です。

地域生協

(4生協)

- ☐ まいにち生活協同組合(斐川町) ☐ 比津が丘消費生活協同組合(松江市)
☐ 道後消費生活協同組合(隠岐の島町) ☐ 生活協同組合しまね(松江市)

○毎日の生活に欠かせない食料品を中心に供給しています。他にも、生活文化事業やサービス事業などを行い、地域に応じた活動を展開しています。

職域生協

(1生協)

- ☐ 島根県学校生活協同組合(松江市)

○カタログ・巡回・指定店供給などで教職員のくらしや健康を支えています。

共済生協

(1生協)

- ☐ 島根県労働者共済生活協同組合(松江市)

○各種共済商品組み合わせた生涯総合保障の提供を行うなど、共済事業を行っています。

医療生協

(2生協)

- ☐ 松江保健生活協同組合(松江市)
☐ ひかわ医療生活協同組合(斐川町)

○病院や診療所等をもち、予防や健康相談活動にも力を注いでいます。

大学生協

(1生協)

- ☐ 島根大学生生活協同組合(松江市)

○食堂や店舗、各種サービスを中心に学生・院生と教職員の食生活や勉学を支えています。



自然災害共済 制度改正のお知らせ

2004年のいろんな“不安”、今年は“安心”に変えたいですね。 **2005年4月実施**



突然の地震!

身近な災害に備え、**2つの改定**でさらに安心!

改定 **1**

地震等の保障額を最大**3割以上**増額!

改定 **2**

台風などの風水害などにおいて

10万円を超える損害の**一部壊**も新たに対象に!

心配な地震や風水害の被害に、全労済はさらに大きく対応します。

改定 **1**

地震等の保障額が
大きくなって、心強い!

1口あたりの共済金額を引き上げました。その結果、全壊したときの最高保障額が従来の900万円から1,200万円と大きくなりました。

改定 **2**

台風などの風水害において
10万円を超える損害も、きめ細かく保障!

従来は対象外だった10万円を超え20万円以下の損害にも対応しますので、より多くの被災者の方々に保障が行き渡ります。

被害の程度			焼破損割合	1口あたりの共済金		支払限度額
				現 行	改定後	
損壊等	全 壊	70%以上	15,000円	20,000円	1,200万円	
	半 壊	20～70%未満	7,500円	10,000円	600万円	
	一部壊	損害額100万円超	1,500円	2,000円	120万円	
焼損等	全 焼	70%以上	17,000円	20,000円	1,200万円	
	半 焼	20～70%未満	8,500円	10,000円	600万円	
	一部焼	損害額100万円超	1,700円	2,000円	120万円	

<風水害等共済金>

被害の程度	損害割合	1口あたりの共済金		支払限度額
		現行	改定後	
一部壊	100万円を超える	10,000円	10,000円	600万円
	50万円を超え100万円以下	5,000円	5,000円	100万円
	20万円を超え50万円以下	2,000円	2,000円	50万円
	10万円を超え20万円以下	対象外	1,000円	20万円

西部支所から

協力団体・組合員の皆さまにはいつもお世話になりありがとうございます。
西部支所は、総勢7名。江津以西の四地区労働協管内において推進活動を行っています。
女性の多い事務所ですが、元気で明るくをモットーに、なるべく組合員の皆さまの身近なところで、保障設計のお手伝いをさせていただき、日々活動をすすめています。ご利用の際にはぜひお気軽に声をかけてください。
今後ともよろしくお願いたします。

西部支所長 佐伯 裕子



上列左から岡田、新藤、佐伯、山崎
下列左から福田、佐々木、梅田

全労済支所の紹介



全労済は、県下にある三つの事務所を拠点に推進活動を行っています。
今回は、その中の江津地区、邑智地区、浜田地区、益田地区、各労働協管内を担当する「西部支所」を紹介いたします。

フレッシューズキャンペーン展開中

=新入組合員の方々に「知っていただく」「理解していただく」運動

ろうきんでは、新入組合員の方々にろうきん運動を「知っていただき」「理解していただく」ことを目的に、3月1日から6月30日までの期間を設定して説明会・学習会・教官活動を通じた取組みを展開しています。

この期間、次の方針で運動を展開しています。

- (1) 広告宣伝活動、会員説明会・学習会を通じて新入組合員の方々に「ろうきん」を知っていただけます。
- (2) ろうきん職員が講師を務める説明会・学習会の実施を働きかけ、会員の福祉活動に役立つ「ろうきん」をアピールします。
- (3) 「ろうきん」における生涯取引開始のスタートと位置付け、会員と連携して次の重点商品を積極的に推進してまいります。

総合口座(給与振込指定・公共料金自振契約)・財形貯蓄・AVO・マイプラン・
IB(インターネット・モバイルバンキング)・ZATTS・カーライフローン

- (4) キャンペーン期間中、重点商品の成約者の皆様に、記念品として「ボーチ入りペンセット」を進呈します。

**県推進委員・運営委員会合同会議開催
各店全体会議で事業計画（案）討議**

三月四日県推進委員・運営委員合同会議が開催され、ろうきん第二期中期経営計画（案）および二〇〇五年度事業計画（案）等について討議が行われました。

全体会議を最初に、各店でろうきんの事業計画（案）の討議が始まりました。

二〇〇五年度は、生活応援運動をさらに推し進め、勤労者のために助け合いの精神^①で設立された福祉金融機関としての、その原点に立ち返り、会員から求められ必要とされるようきんを指し、存在意義をより一層高める取組みを展開してまいります。

NPO 立上げ助成

中国ろうきんでは、全国の労働金庫に先駆け二〇〇二年に旧国
民ろうきんでスタートしたNPO法人の立上げ助成を、二〇〇四年
度より中国五県で実施することになりました。

これは、ろうきんが社会貢献活動の一環として、市民、パルや職場で地域自治体とお互いが支え合い認め合いながらボランティア活動・団体の支援をすすめる、労働金庫の基本理念の一部である一経済・文化・福祉及び環境にかかわる活動を促進し、人々が喜びを

もって共生できる社会の実現」に寄与しようとするものです。

二〇〇四年度は、中国五県で二十四団体、総額三〇〇万円を、鳥根県では四団体に総額四〇万円贈呈いたしました。鳥根県での贈呈先NPO法人は、次のとおりです。

「輝（きら）」「息城スヘ
ース ポコ・ア・ポコ」
「YCスタジオ」「まっえ、
まちづくり塾」

出雲支店・平田代理店紹介

ただいま中国労働金庫出雲支店では、フレッシュキャンペーンを展開中です。3月22日に誕生した新出雲市、斐川町をエリアとして、我支店・代理店職員一同は、気持ちも新たに「真心いっぱい力いっぱい」を合言葉に、働く皆様のお役に立つよう努めます。

